

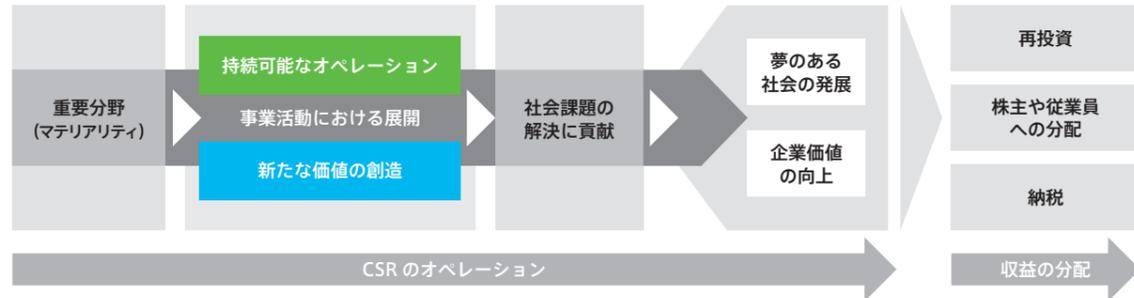
# 東京エレクトロンのCSR

## 東京エレクトロンの基本理念

最先端の技術と確かなサービスで、夢のある社会の発展に貢献します

## CSR方針

東京エレクトロン(TEL)のCSRは基本理念を実現する取り組みです。TELでは、企業統治や法令遵守、倫理などの観点から持続可能なオペレーションを追求するとともに、製品やサービスの提供による新たな価値の創造により、社会課題の解決に貢献すべくCSR活動を展開しています。これからもCSR活動を通してステークホルダーの皆さまとの信頼関係の構築に努め、企業価値を向上させることで、持続可能な夢のある社会の発展に貢献します。



## CSR推進体制

TELでは、中長期的な企業価値向上の観点から事業戦略との統合を図りながら、サステナビリティマネジメントを展開しています。CSRの活動は以下の3つの会議体を中心に推進しています。CSRに関する最高意思決定機関であるCSR定例会議では、グループ全体の方針や重要案件についての話し合いをおこない、全世界のCSR責任者が参加するCSRグローバル推進会議においては、CSRの短中期目標やグローバルプロジェクトの推進などについて討議しています。また各部署の担当者が参加するCSR月次連絡会ではCSR活動に関する情報共有をおこない、横断的なテーマに取り組むための連携体制を構築しています。



2018年11月におこなわれたCSRグローバル推進会議

会議名称	参加メンバー	会議内容	開催頻度
CSR定例会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表取締役会長</li> <li>代表取締役社長・CEO</li> <li>取締役および本部長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社CSR方針の決定</li> <li>重要案件についての話し合い</li> </ul>	年2回
CSRグローバル推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR担当取締役</li> <li>関連部門長</li> <li>関連会社・海外現地法人CSR責任者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR目標の設定</li> <li>グローバルプロジェクトの推進</li> </ul>	年2回
CSR月次連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署CSR担当者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR活動内容の共有</li> <li>横断的テーマの取り組み</li> </ul>	月1回

## 社内における取り組み—CSR推進賞

TELでは『仕事』と産業や社会の課題、発展との結びつきを認識し、その取り組みを推進するため、産業や社会の課題解決に寄与する展開事例を『仕事の中のCSR』として世界中の全従業員に募りました。審査においては、SDGsとの結びつき、産業や社会課題の解決への寄与、TELの企業価値向上への貢献などの点に重きが置かれ、CSR推進賞1件、CSR優秀賞3件を表彰いたしました。



## 国際的なイニシアティブの参画

TELは、CSRの国際的な推進機関である国連グローバル・コンパクトや Responsible Business Alliance (RBA)\*1)のメンバー企業として、グローバルな視野から持続可能な経営基盤の構築に努めています。

### 国連グローバル・コンパクトの10の原則

- “健全なグローバル化” “持続可能な社会” の国際的な取り組み
- 2013年に署名



**人権**

- 原則1 人権擁護の支持と尊重
- 原則2 人権侵害への非加担

**環境**

- 原則7 環境問題の予防的アプローチ
- 原則8 環境に対する責任のイニシアティブ
- 原則9 環境にやさしい技術の開発と普及

**労働**

- 原則3 結社の自由と団体交渉権の承認
- 原則4 強制労働の排除
- 原則5 児童労働の実効的な廃止
- 原則6 雇用と職業の差別撤廃

**腐敗防止**

- 原則10 強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み

### RBAのフレームワーク(5つのセクション)

- エレクトロニクス業界を中心としたCSR推進団体
- 2015年に参加



## 外部からの評価

TELのCSR活動は世界各国の評価機関より高い評価を得ており、世界の代表的なESG投資インデックスの構成銘柄に選定されています。

2018年度は、前年度に引き続き「DJSI\*2 Asia Pacific 2018」、「FTSE4Good\*3」、「FTSE Blossom Japan Index\*4」、「MSCI World ESG Leaders Indexes\*5」、「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数\*6」などの構成銘柄に選定されました。



## SDGs(持続可能な開発目標)に対する取り組み

SDGsは、2015年の「国連の持続可能な開発サミット」にて全会一致で採択された2030年までの世界共通の目標です。TELは事業を通じて取り組むSDGsのゴールをマテリアリティ(重要分野)ごとに明確にし、全社レベルで展開しています。



東京エレクトロンはSDGsを支援しています。

\*1 RBA: Responsible Business Alliance (RBA)は、2017年10月に Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC®)より改名されました

\*2 DJSI: Dow Jones Sustainability Indices. S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社(米国)、RobecoSAM社(スイス)が開発したESG(環境、社会、ガバナンス)投資インデックス。DJSI Asia Pacificはアジア太平洋地域が対象

\*3 FTSE4Good: FTSE社(英国)が開発した、環境や企業の社会的責任に関するインデックス

\*4 FTSE Blossom Japan Index: ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックス

\*5 MSCI World ESG Leaders Indexes: MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル)社が作成しているESG投資インデックスであるMSCI Global Sustainability IndexのうちESGに優れた企業が選定される

\*6 MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数: 親指数(MSCIジャパンIMIトップ500指数: 時価総額上位500銘柄)構成銘柄の中から、親指数における各GICS®業種分類の時価総額50%を目標に、ESG評価に優れた企業を選別して構築される指数